

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		かみきただい児童館運営費[かみきただい児童館運営事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	6	児童館費	事業番号	3	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	青少年課 青少年育成係					課長名	石川 博隆					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 4			
【施策名】 児童福祉の推進								総合計画書(ページ)	59			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	周辺に住む0~18歳未満の乳幼児、児童とその保護者。 →					市内の0~18歳未満の乳幼児・児童数 (令和4年3月1日現在)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
①児童が児童館での遊びや行事を通じて成長できるようにする。 ②乳幼児が安心して遊び、保護者同士が交流、情報交換をできるようにする。					①児童の来館者数(延べ人数) ②乳幼児・大人の来館者数(延べ人数) (1)乳幼児 (2)保護者							
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①児童の居場所の提供、児童向け行事の開催、ランドセル来館の実施 ②乳幼児の遊び場、保護者同士の交流、情報交換の場の提供。乳幼児親子向け行事の開催。1、2歳児親子サークルの実施。					①年間実施回数 (1)児童向け行事 (2)ランドセル来館 ②年間実施回数 (1)乳幼児親子向け行事 (2)1歳児親子サークル/2歳児親子サークル							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	人	13,328	13,178	12,874		/				
	成果指標	②の数値	延べ人数	①10,622 ②(1)1,897 (2)1,635	①4,283 ②(1)745 (2)658	①15,592 ②(1)1,417 (2)1,292						
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方								
令和3年度は、国の緊急事態宣言発令にあわせ臨時休館、人数・時間制限等を行ったため、目標値設定不能。												
活動指標	③の数値	回	①(1)32 (2)288 ②(1)16 (2)19/23	①(1)70 (2) ②(1)8 (2)6/7	①(1)20 (2)267 ②(1)8 (2)0/0		/					
事業費(実績)		円	8,655,584	11,931,219	12,106,545							
3 経費	財源	一般財源	円	6,619,664	8,382,779	9,569,545		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
		特定財源(国・都・他)	円	2,035,920	3,548,440	2,537,000						
		(うち受益者負担)	円	18,920	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	8,310,000	8,380,000	8,250,000						
職員人件費(再任用)	円											
事業費+人件費		円	16,965,584	20,311,219	20,356,545							
4 環境変化等	(1) 開始年度	平成5 年度										
	(2) 環境の変化	国から新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言が発令された以降、緊急事態宣言の解除や再発令を数度繰り返し、児童館において行事の縮小及び中止が相次ぎ、利用者は減少した。令和3年度は親子サークルへの参加応募が無く、サークルは成立しなかったが、その反面、令和3年9月以降、乳幼児とその保護者の子育てひろば利用者が増えた。										

